

乳腺・内分泌外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	甲状腺、甲状腺乳頭癌および転移リンパ節における 型コラーゲン 鎖の発現
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	外科学講座(乳腺・内分泌外科) 教授 中野正吾
試料・情報の利用目的 及び利用方法	<p>〔利用目的〕</p> <p>基底膜は細胞の接着や分化、癌細胞の浸潤などの役割を担っていることが知られています。 型コラーゲンという分子が基底膜に最も多く存在する分子として知られています。甲状腺や甲状腺乳頭癌および転移したリンパ節において、 型コラーゲンの発現については詳細な報告がされていません。今回の研究の目的は甲状腺、甲状腺乳頭癌および転移したリンパ節の 型コラーゲンの発現を評価することです。</p> <p>〔対象となる患者さん〕</p> <p>2007年4月から研究実施承認日までに甲状腺乳頭癌と診断され手術を受けた患者さん</p> <p>〔研究期間〕</p> <p>研究実施承認日 ~ 2025年12月31日</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>切除した組織に対して 型コラーゲンの発現がわかるように免疫染色を行います。</p> <p>〔他の機関へ提供される場合はその方法〕</p> <p>なし</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	<p>試料：切除した甲状腺組織、リンパ節</p> <p>情報：年齢、性別、手術日、術式、癌の組織型、stage、Ex(腺外浸潤)、経過など</p>
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	非該当

提供する試料・情報の取得の方法	非該当
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	非該当
利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年8月31日までにお電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 乳腺・内分泌外科 担当者:(職名)専修医 (氏名)西塔誠幸 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311(内線 77794)